



絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成28年6月22日発行
No 2 文責 小林

キャリア

たてわり班花の苗植え

低学年は、高学年から苗の植え方を教えてもらうことで、その姿に憧れを抱き、高学年は、分かりやすく教えたり、お世話をしたりすることで、小さな子へのかかわり方を学びます。



5月30日（月）、たてわり花壇の花の苗植えを行いました。たてわり班活動は、結成式以来2回目でしたが、学年が上になるほどたてわり班での活動経験を重ねているので、戸惑うことなく参加していました。特に高学年の子どもたちは、「低学年のお世話をする」という役割を自覚し、とても優しくかかわることができていたと思います。

今年度は、グループごとの取組を充実させ、より密度の濃い交流を目指して活動していきます。今後は、グループごとに仲良くなることのできる活動を計画し、実施していく予定です。昨年度のように決められた活動にグループで参加するのではなく、各グループの個性が発揮されるので、計画がとても重要になります。リーダー学年を中心に充実した取組になるように頑張りましょう！

今年度は、グループごとの取組を充実させ、より密度の濃い交流を目指して活動していきます。今後は、グループごとに仲良くなることのできる活動を計画し、実施していく予定です。昨年度のように決められた活動にグループで参加するのではなく、各グループの個性が発揮されるので、計画がとても重要になります。リーダー学年を中心に充実した取組になるように頑張りましょう！

たてわり「朝のあいさつ運動」

キャリア

6月16日（木）から「朝のあいさつ運動」が始まりました。児童会主催のあいさつ運動をたてわり班を利用して行う取組ですが、花の苗植え作業同様「キャリア教育」の視点も兼ね備えています。キャリア教育は、一見難しいように感じられますが、実は特別な行事で行う必要はなく、日常の取組の視点を変えてみるだけでいいのです。

例えば、今回の「朝のあいさつ運動」も、たてわり班を利用すれば「キャリアプランニング能力」や「社会形成・人間関係形成能力」の育成に繋がりますし、自己評価等を入れれば「自己理解・自己管理能力」の育成、個人や学級で、どのようにすれば、すてきな挨拶に繋がるかを考えていったならば「課題解決能力」の育成に繋がります。大切なのは、一つ一つの取組をどのような目的をもって仕掛けるのか？私達の意識にかかっているというわけです。日常の当たり前の取組に、ちょっとだけ意図的なはたらきかけをする・・・簡単なことからいいと思いますので、ちょっと意識してみると、日常の取組にもまだまだ他の可能性が見えてくるかもしれませんね。



大切なのは、一つ一つの取組をどのような目的をもって仕掛けるのか？私達の意識にかかっているというわけです。日常の当たり前の取組に、ちょっとだけ意図的なはたらきかけをする・・・簡単なことからいいと思いますので、ちょっと意識してみると、日常の取組にもまだまだ他の可能性が見えてくるかもしれませんね。